

# ICOLD をめぐる動き（第 44 報）

## —ICOLD ウィーン年次例会総会—

松 本 徳 久\*

今月号は ICOLD ウィーン年次例会大会の特集なので総会について報告する。

総会は7月3日（火）8：30～18：00に開催された。柳川 JCOLD 会長は投票権を持つ代表，森北副会長，舛田国土交通省企画専門官も JCOLD の登録代表として出席した。総会の冒頭この1年間の物故者6名すなわち豊田高司元会長，Sultan ALAM 氏（仏），Alexander ASARIN 氏（ロシア），Chris OOSTHUIZEN 氏（南ア），Jussi PYYNY 氏（フィンランド），Adrian POPOVICI 氏（ロシア）に1分間の黙祷をささげた。写真—1に総会の役員席を示す。

### (1) 選挙

今回は大会の年であり現総裁の A. Schleiss 氏の任期満了にともない後任総裁の選挙の年となったが Michael Rogers 氏（米国）のみの候補で投票では賛成60，反対1，棄権2で当選した。2名の副総裁選挙ではアフリカ地域（Ahmed Chraïbi 氏，モロッコの後任）からはエチオピアの Michael Abebe 氏がただ一人の候補で投票の結果賛成62，棄権1で当選した。Michael Rogers 氏（米国）の後任はすでにカナダから副総裁が出ており第6ポスト（地域を問わず）となりイランの Ali Noorzad 氏がただ一人の候補で投票では賛成58，反対1，棄権4で当選した。来年の役員の出選では中国の周氏の後任は今回イランの Noorzad 氏が選出されているからアジア地区ではなく，第6ポスト（ただしヨーロッパを除く）となること，

M. Lino 氏（仏）の後任はヨーロッパ地区からの選出となることが事務局長から発表された。

### (2) 決算報告（2017年度）

収入合計は611,137€（内訳は会費419,875€，年次例会収入175,528€など），一方，支出合計は628,873€（内訳は人件費271,224€，事務所費246,109€など）であった。長期未払いの会費については13,503€を損金処理した。決算報告は全会一致で承認された。

### (3) 次回以降の年次例会の準備状況

2019年のオタワと2020年のニューデリー，2021年のマルセイユの準備状況が報告された。

### (4) 2022年の年次例会開催地

2022年の年次例会の開催地はイランのシラズが唯一の候補であり，全会一致で可決された。

### (5) 新技術委員会

来年「資金調達委員会」が発足することが事務局長から説明された。

### (6) 技術委員会のガイドライン

M. Lino 副総裁から技術委員会を円滑に運営させるためのガイドラインを制定したことが説明された。



写真—1 総会役員席

\*1 一般社団法人日本ダム会議 専務理事

**(7) 若手技術者の会**

40歳未満を若手として運営することなどが表明された。

**(8) 地域クラブからの報告**

ヨーロッパ, 米州, アフリカ, アジアパシフィックの各地域から活動報告がなされた。

**(9) ダム台帳**

Patrick Le Delliou 氏 (ダム台帳委員会委員長) が台帳の重要性, 更新, 連絡を各国に要請した。これは本部から回状 (Circular letter) として配布されている。

**(10) 国際出版**

ICOLD は CRC プレスと契約し ICOLD の彙報, 大会論文議事録, シンポジウム論文議事録, 地域クラブ報告を一括して国際出版することとした。目的は① ICOLD の外で広く購読できるようにする, ② ISSN 番号を取る, ③ 収入増, ④ on line の出版で迅速化, ⑤ 本部の事務量の縮減である。なお今回の大会の出版物は CRC プレス Balkema から出版し本部の事務のアウトソーシングができた。

**(11) ICOLD の web**

ICOLD アプリを携帯に入るようにした。個人が投稿できる。

**(12) 技術委員会の報告書出版**

次の6冊の技術委員会彙報を出版することが承認された。

- 運用前段階におけるダムの安全
- 洪水吐きと放流管の閉塞
- ローラーコンクリート転圧ダム

- ダムの水理構造物の操作
- アスファルトコアのフィルダム
- ダムの監視—事例からの教訓

**(13) 日仏の成果の出版**

日仏協力の成果が ICOLD の第1号の国際出版として電子出版されたことが Fry 氏 (フランス) と松本から報告され総会の場で各国に1冊贈呈された。

**(14) 90周年**

今年は ICOLD 創設90年目にあたり本年12月にパリでお祝いが企画されていることが事務局長から報告された。

**(15) 技術開発賞**

- Franz Georg Piki 氏 (オーストリア) 水力と熱を組み合わせた揚水式発電
- Quentin Shaw 氏 (南ア) コンクリートの応力緩和クリープ
- Jia Jinsheng 氏 他 (中国) CFRD の新技術開発
- Nicolas Nerinx 氏 他 (フランス) 石灰処理土の堤防への応用
- 生涯達成賞として Francois Lemperiere 氏 極めて多年にわたり独創的なダムの技術を開発してきた。実際の賞はサプライズのため総会では発表されず大会の開会式で贈呈された。

**(16) ICOLD 功績賞 (総会では発表されず, 大会閉会式で贈呈)**

- Patrick Le Delliou 氏 (元フランス大ダム会議会長, WRD 委員会委員長)
- Larry Stephens 氏 (米国大ダム会議2013年シアトル年次例会当時の事務局長)